

区政会議に関するアンケート集計結果（城東区）

本会

1. 城東区区政会議は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	39
ア. 思う	7	18%	肯定的意見 割合	85%
イ. やや思う	26	67%		
ウ. あまり思わない	4	10%		
エ. 思わない	2	5%		

2. 3. 区政会議のより活発な意見交換に向けた課題と、改善のための取組や工夫

有効回答数	43
-------	----

選択肢(課題)	回答数	回答率 (複数回答可のため、割合の総合計は100%を超えます。)	取組・工夫(改善策)
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	14	33%	
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	18	42%	
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	19	44%	<ul style="list-style-type: none"> ・特に本会においては、委員の共通の理解を得るため、資料内容の報告・説明会を設ける ・新委員や公募委員に地活の状況を把握してもらう(すでに進んでる、また設けられている事を全然ご存じなく初めからの説明ということもあったため) ・新年度や新委員交代時などに会議とは別に会議のやり方、区政の方針説明など具体的な内容を知ってもらう ・会議で扱う事案に関する「用語集」「辞書」的なものを時間をかけて作成、編集、改訂を続け、各委員に配布する
エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。	5	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を有効に使うため、会議中に発言される「質問」にあたる部分は、あらかじめ(会議前に)提出して事前に回答をもらう ・本会も部会も数人の班にわかれて、意見交換し、取りまとめた後、班ごとに発表(代表者)する
オ 特定の人だけが発言している。	14	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・ある時は一人の人が4回も意見等をしていたため、発言できる回数を決める
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。	4	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・席は50音順でなくランダムにする ・円卓する ・本会の場合は、部会ごとの結束が少しでも生まれる様に部会ごとの班で近くに座る
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。	5	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の時間を会議の時間からカットする
ク 区政会議の開催回数が少ない。	5	12%	
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。	4	9%	

コ	意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。	12	28%	
サ	実質的な議論が部会で行われており、本会議ではその報告が中心となるため、他の部会の議題について意見を述べづらい。	15	35%	
シ	その他 (何について意見を言えばよいか分からない)	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間の情報の交流の場を作る ・本会は部会の報告のみにする ・現状よりも少し戦略などを詳細に討議する ・自由に意見交換ができるよう、自由討議の時間の設定

4. 区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	割合
ア. 思う	3	8%	36	
イ. やや思う	25	69%		
ウ. あまり思わない	6	17%	肯定的意見 割合	78%
エ. 思わない	2	6%		

5. 4について、なぜそのように思うか。

- ・担当が区役所外であったり、状況によりすぐの対応が難しいものもあるが、それ以外は対応していただいている
- ・意見や質問に対して必ず返答がある
- ・本会及び部会において述べた意見に対しては区の考え方と対応状況にチェックを入れ、フィードバックはいただいているが、それぞれが非常にお役所的(当然)で、具体的にいつまでにどうしますという回答が少なく、また部署が違うなどの答えが多いように感じる。意見に対する回答とフィードバックのみの部会があってもいいのでは
- ・「区政会議での意見を踏まえ、こうしました」というようなことがあれば報告してほしい
- ・現状報告はなされている
- ・一応はフィードバックを行ってもらっているが、区としての考え方を述べるのみになっている
- ・要望している件について、説明・改善されたことがあった

次の会議の資料に回答があるから

- ・地域ごとによって、本会議で検討される内容についてのとらえ方、考え方が多様であると思う。一つの表現手段ですべての委員に議事内容を等しく伝えるのは難しいと思う
- ・発言された内容について、次回にフィードバックされていると思う
- ・具体的になっているとは思えない
- ・本会・部会ともに、すべての意見に即結論の出せる課題は少ない
- ・中にはあまり納得していない方がいる
- ・会議記録にて確認できている
- ・意見に対し、区の考え方が書いてあるから大体わかる
- ・遅いので、タイミングをなくしている
- ・意見や要望に対して具体的な回答が行われていないと思う
- ・会議の意見に対して区の考え方を文章で回答しているから
- ・否定する意見に充分説明できていない
- ・その都度、最大の対処をしてくれている

6. その他意見等

- ・委員着任当初は、特定の方が問題視されている点のお話を多くされ、討議の内容が偏ることがあった。特に公募委員の方は、ご自身の活動で問題点を強くお持ちで参加されている方も多いのかと思います。そういう方の意見をお聞きするために事前に討議してほしい内容がある方は提案してもらい、必要な案件であれば議題としてあげ、その時間を区切って作ればいい
- ・年間日程を出してほしい
- ・区政会議の位置付けに信頼感が置けず、ガス抜きの機関としか思われたい
- ・あまり発言のない委員の意見をどう引き出すかの工夫が必要
- ・公募委員の自分中心の発表の場となっている。地域代表の各地域の意見を取り入れた形での運営が必要
- ・その場で回答がない時もあるので意見交換までならない
- ・発言内容が聞き取りづらい場合がある
- ・本会議においては、こども・まちづくり・地域福祉と毎回合同ですが、何度かに一度は地域別での会合もあって良いのでは
- ・区の方から「これについて」という提案ができるのなら、もっと良い
- ・委員と区役所との質疑応答で大半が終始している。質問や意見が出たとき、他地区でどのような対応しているか意見を述べる機会も必要

- ・問題点を明らかにして、議論しないと方向性が見えてこない
- ・各部会の資料を読み込む時間がなかなか取れないので、本会においては、各部会の報告を中心として、その報告と区の考え方を各委員に周知する場としても良い
- ・資料をもう少しわかりやすくしてほしい
- ・各部会で議論を尽くしていると思うので、問題となる点について別の部会の委員の意見を聞いてはどうか
- ・公募委員の個人的な意見も必要なのかもしれないが、せっかく各地域から出ているので地域の要望・取り組んでほしい施策などを必ず発表できる形の工夫が必要
- ・大勢の中での会議で意見を出すのが難しい。話し合いが緊張せずにできることを望む
- ・1つの項目について意見を求めるなら内容が深まるかもしれないが、色々な項目について広く意見を求めるので深めにくく、言いつばなしになることが多い。区・市の大枠が決まっているので難しい
- ・区政委員をさせていただいて、他の委員の方の考え方や区の説明をお聞きする場があったのは大変有意義だった
- ・区政委員の中で地活に係る方とそうでない方では、地域の情報に関する情報量や理解度にかなりの違いがある。行政・コミュニティ・個人と対応の区分が明確化できないものか
- ・広く意見を聞くのも良いが、もっと専門的な建設的な討議の場になればと思う
- ・城東区がなくなれば今まで重ねてきた区政会議の意味がなくなるのでは
- ・区政会議に参加することで、委員の皆さんの声を直接お聞きすることができたのは良かった。皆さんが真剣に区の事を考えておられてとても勉強になった
- ・区政会議の委員定数が減っているが、理由に委員が多く全員の意見が聞けないとあるが、意見を言わなくても区の現状がわかり地域等に持ち帰り、活用できる場合もある。また地域活動協議会から男女1人ずつであったが、今回は男女比はどうなっているか、地域の事情に詳しい女性の活用が望ましい
- ・各連合町会で解決すべきことを区政会議で発言していることが多い

区政会議に関するアンケート集計結果（城東区）

資料7

部会

1. 城東区区政会議は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	39
ア. 思う	9	23%		85%
イ. やや思う	24	62%		
ウ. あまり思わない	4	10%		
エ. 思わない	2	5%		
			肯定的意見 割合	

2. 3. 区政会議のより活発な意見交換に向けた課題と、改善のための取組や工夫

有効回答数	43
-------	----

選択肢(課題)	回答数	回答率 (複数回答可のため、割合の総合計は100%を超えます。)	取組・工夫(改善策)
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	10	23%	
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	15	35%	
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	17	40%	特定の課題についてとても詳しい委員がいて、独自の意見を持っているので、特定の課題について、全委員で学習会をする
エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。	4	9%	・部会ごとに委員が問題、意見、疑問点を前もって提出し、部会で集中して討議できる場にする
オ 特定の人だけが発言している。	12	28%	・発言の少ない委員を議長が指名する
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。	4	9%	
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。	4	9%	
ク 区政会議の開催回数が少ない。	4	9%	
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。	4	9%	
コ 意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。	13	30%	
サ その他 (何について意見を言えばよいか分からない)	0	0%	・一つの部会で扱うテーマが多いので、部会内で小委員会にわけて、より具体的な内容の意見を求め、述べるようする

4. 区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	35
ア. 思う	4	11%	肯定的意見 割合	74%
イ. やや思う	22	63%		
ウ. あまり思わない	7	20%		
エ. 思わない	2	6%		

5. 4について、なぜそのように思うか。

担当が区役所外であったり、状況によりすぐの対応が難しいものもあるが、それ以外は対応していただいている

6. その他意見等

- ・意見を述べてもそれについて話し合うことが少なく思う
- ・地域別で集合住宅の多い地域、一戸建て住宅の多い地域とでは問題点が違ってくると思う
- ・部会ではさらにテーマが細分化されるので意見交換しやすい
- ・比較的身近な問題で他地域のことなど参考になることが多かった
- ・まちづくり部会は広範囲な課題があるので議題を絞って討議するのがよい
- ・意見のある人はどんどん発言してもいいと思う
- ・資料内の「戦略」(めざす成果、戦略)「経営課題」(目指すべき将来像、めざす成果、戦略)項目が多すぎる。各項目が同じことを繰り返し表現している。同じ文言を何度も読まされる
- ・各部会の人数を無理に合わせる必要はない
- ・自由に意見交換ができるような時間もあって良い。自由討議によって、部会の課題からはみ出ることもあると思うが、案外その中に大事なポイントが隠れているように思う
- ・全てを議事録に記載する必要があるのか
- ・部会では全員が発言できるよう議長が運営している
- ・時間が足りず、薄い話しかできない
- ・本会・部会ともに、すべての意見に即結論の出せる課題は少ない
- ・区のレベルでは対応できない要望があり、返答が困難な場合が多い。区政会議の趣旨と違っている
- ・資料の説明が冗長
- ・本会と同様、回答で区できていないことに関しても、今後どうするかという回答がない。意見を言ってもそれだけで終わってしまう気がする
- ・区・市の基本政策が決められている(予算削減)ので、特に予算を伴う内容・意見はなかなか反映しにくい。昨年の地震・台風については実際いろいろな区民の声が伝えられ、防災については少し反映、工夫されたことはあったと思う。今後はもっと必要

**「区政会議に関するアンケート」(令和元年9月実施)における
主な意見に対する区の方考え方について**

資料7

主な意見	区の方考え方
年間の日程を教えてください	<ul style="list-style-type: none"> ・委員就任の際のご案内や11月22日開催の「区政会議に関する勉強会」においてご案内させていただいておりますが、令和元年10月以降2年間の任期中における会議開催スケジュールについては以下のとおりです。 ・令和元年 【本会】11月 ・令和2年 【部会】5月、9月 【本会】7月、11月 ・令和3年 【部会】5月、9月 【本会】7月
資料をもう少しわかりやすくしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針内の分かりづらい用語については、用語解説として説明を記載しております。 ・また、送付資料の中でわからない用語があった場合は、事前質問を活用いただくなど、適宜お問合せください。 ・会議での説明の際においても、専門用語には補足説明を行うなど、より良い区政会議運営に努めてまいります。 ・配付資料が過大にならないよう、内容についても精査してまいります。
意見交換しやすい配席に変更してほしい ・50音順でなくランダム ・円卓 ・本会は部会のグループごとに	<ul style="list-style-type: none"> ・配席については、会場の大きさの問題もあり、柔軟な変更は困難な状況ではありますが、いただいたご意見も参考に、より活発な意見交換につながるような配席を検討してまいります。
本会の運営について、各部会で議論されているので、問題となる点について別の部会の委員の意見を聞いてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の区政会議本会では、さらに部会の議論を深めていくという主旨から、特に他の部会に所属する委員の方の積極的なご発言を求めたところです。引き続き、より議論を深めていくための方策を検討してまいります。
討議の内容が偏ることがあるため、事前に討議してほしい内容がある方は提案してもらい、必要な案件であれば議題としてあげ、討議する時間を作ってほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には区政会議は運営方針に沿って、ご意見をいただくものと考えておりますが、特にご意見が多いテーマの場合は、時間を区切らずに意見が出尽くすまで意見交換いただくようにしているところです。
全てを議事録に記載する必要があるのか	<ul style="list-style-type: none"> ・区政会議の議事録については、「区政会議の運営の基本となる事項に関する条例」第11条において、開催の都度作成するものと定められております。 ・また、記載内容としては、発言内容をそのまま逐語レベルで記載することが求められています。
地域活動協議会の取組などを知らない方へ会議中説明する場面があったので、新委員や公募委員に知ってもらうようにしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元11月28日に開催しました本会において、地域活動協議会の活動内容などを記載している資料「みんなの地域活動ハンドブック」を配付しました。
・新年度や新委員交代時などにおいて、会議とは別に、会議のやり方や区運営方針についての説明会をしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・主に新委員の方を対象に、令和元年11月22日に区政会議や区運営方針に関する勉強会を開催し、その資料については委員全員に配付しました。
特に本会においては、委員の共通の理解を得るため、資料内容の報告・説明会を設ける	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、区政に関わる知識を深める機会について、みなさんのご意見を踏まえて、実施方法・時期等を検討してまいります。 ・専門用語など、運営方針内の分かりづらい用語については、用語解説として説明を記載しており、適宜加筆、修正をしてまいります。
会議で扱う事案に関する「用語集」「辞書」的なものを時間をかけて作成、編集、改訂を続け、各委員に配布してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語など、運営方針内の分かりづらい用語については、用語解説として説明を記載しており、適宜加筆、修正をしてまいります。